

観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち 日本の湖水地方

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

観光まちづくりカレッジは「富士河口湖町再発見ツアー・シリーズ」を行っています

観光まちづくりカレッジでは、町民の皆様と一緒に、町内の観光施設や観光素材などを様々な角度から実際に見学しながら観光まちづくりを考える「富士河口湖町再発見ツアー・シリーズ」を行っています。10月には第1弾と第2弾のツアーが行われ、好評を得ました。今後も次々と企画する予定ですので、皆様のご参加をお待ちしています！

報告

『“茅葺き職人と歩く”西湖いやしの里根場～みんなで育む茅葺きの里～』

10月18日(日)、好天に恵まれるなか5名の方にご参加いただき、町内在住の茅葺き職人のガイドにより西湖いやしの里根場周辺を見学しました。

茅葺き職人の話を聞く機会は滅多にないということで、参加者はとても興味深げでした。



【参加者のコメント】

- ・とても興味深かった
- ・職人によって茅葺きの様式に違いが出ることが分かった
- ・もっと参加者が多いとよかった

報告

『実はきのこの名産地～原木「きのこ」の秘密を探る～』

10月25日(日)、曇天でしたが11名の参加者の方々と本栖湖周辺の青木ヶ原樹海と原木きのこ栽培地を散策しました。

原木きのこの栽培に適した環境と、原木きのこの美味しさを改めて再発見できました。



【参加者のコメント】

- ・もっと長く歩きたい
- ・原木栽培と菌床栽培の違いが分かった
- ・キノコの栽培法が知りたい
- ・食事がおいしかった

第3弾

“船津口登山道を再発見する”～登山道周辺の自然と文化を探る～

富士山五合目まで至る船津口登山道は、昭和39年にスバルラインが開通するまで、バス路線があり多くの人々に利用されてきました。現在はあまり活用されていませんが、自然と歴史の道としての可能性を持っています。「船津口登山道を再発見する」はシリーズ企画として今後数回に分けて行い、今回はその第1回となります。

今回のツアーについて

秀麗な富士山は、ある時は「信仰」の対象となり、またある時は、すそ野から中腹まで茂る樹木により「林業」などの産業を生みました。富士山の恵みは、信仰、観光、産業、教育、研究、生活など様々な側面に役立っています。今回のツアーのねらいは、船津口登山道周辺の施設や現存する遺構から、人々が富士山とどのように触れ合い、親しみ、活用してきたか、その一面を探る旅です。

開催日:平成21年12月19日(土) **時間**:午前9時00分～午後3時20分(昼食:各自) **定員**:先着20名

場所:創造の森周辺 **集合・受付**:午前9時 中央公民館 入口前駐車場 **参加料**:無料

プログラム: (1)トロッコ道を歩く(2時間30分) (2)船津胎内・溶岩樹形周辺の散策(1時間30分)
(3)茶話会(コーヒー・サービス)

参加申込み方法:12月16日(水)までに、電話、FAX、電子メールのいずれかの方法で、お名前、連絡先、参加人数を観光課 観光振興支援室(担当:久保)までご連絡ください。

(当日の詳細に関する案内は申込者に別途ご送付します)

お問合せ:観光課 観光振興支援室 TEL 72-3168 / FAX 72-2817 / Eメール kanshin@town.fujikawaguchiko.lg.jp